

自立経済に向け経済団体の叡智を結集

第2回中小企業振興会議開催

仲井眞県知事が会長を務める第2回の中小企業振興会議が、10月30日に県庁で開催された。商工会から、荻堂会長(県連)のほか、各地域部会の代表として當山会長(恩納村)、兼堅会長(うるま市)、呉屋会長(糸満市)、大原会長(石垣市)の4名が参加した。

委員からは、離島地域における流通システムの改善や、県産品の販路拡大、県や国の制度金融のあり方などについて活発な意見が出された。荻堂会長は、喫緊の重要課題として、激変する経済情勢に、運営資金面で小規模事業者が翻弄されている現状にふれ、特に年末年始における緊急の金融支援の必要性を訴えた。また、緊急メッセージのとりまとめや即応する体制づくりの検討も提言した。



委員の荻堂沖縄県商工会連合会会長(中央)と兼堅うるま市商工会長(右)

躍進・商工会青年部

「顕彰2部門：九州ブロック代表・主張発表：九州商工会連合会会長賞受賞」

平成20年度九州地区商工会青年部合同研修会（主催・九州商工会連合会）が10月14日、15日の両日、佐賀市文化会館で開催された。

『顕彰表彰』

九州地区商工会青年部連絡協議会長顕彰表彰が行われ、本県青連からは、個人の部2部門で、九州ブロック代表（1位）に選ばれ、それぞれ取組事例を発表した。団体の部では、九州ブロック2位となる。

本県受賞者は以下の通り。

人（ヒューマン）づくり「人づくり部門」

九州ブロック代表（1位） 大嶺 裕（うるま市）

ネットワークづくり「ネットワークづくり部門」

九州ブロック代表（1位） 宜保 直樹（豊見城市）

まち（地域）づくり「まち（地域）づくり部門」

九州ブロック2位 宜野湾市商工会青年部



『若い経営者の主張発表大会』

九州各県代表者8名により、青年部活動を通じて得た事例の主張発表大会が行われた。

本県発表者の「平田千春」さん（豊見城市商工会青年部）が「青年部活動と地域振興・まちづくり～響け、とよみのこころ～」と題して発表し、2位の「九州商工会連合会会長賞」に選ばれた。

平田さんは、現在、FMとよみのアナウンサー兼経営者。FMと開局に至るまでの経緯に触れながら、女性の青年部員として、女性の自分が出来る役割を見つけ部員活動を楽しみながら学んでいくことの大切さや、青年部活動を通じて地域貢献を意識し、「FMとよみというラジオ局」を通して、豊見城の皆さんと地域の魅力を発信していきたいと力強く語った。

「九州経済産業局長賞」には、鹿児島県さつま町商工会青年部堀之内力三さんが選ばれた。



九州商工会連合会会長賞を受賞した平田千春さん